

現場のモチベーション向上を

東京電力 緊急安全対策取りまとめ

東京電力は8日、福島第一原子力発電所の廃炉作業に関する緊急安全対策を発表した。汚染水・タンク問題への対応加速化・信頼性向上に向け、労働環境の抜本的改善、安全・品質確保のマネジメント強化、設備の恒久化などを図り、現場の志気高揚にもつなげていくもの。

去る十月二十八日、東京電力・廣瀬直己社長は、原子力規制委員長との会談で、福島第一事故炉の現状に関し、「安全を確保する観点から、極めて憂慮すべき事態」として、早急な解決策を打ち立てることを求められた。これを受けて、廣瀬社長は8日、同社本店で記者会見に立ち、ハード面・ソフト面、現場のモチベーション向上に関わる総合的対策を、優先順位を付け迅速に実施していく考えから、七項目の緊急安全対策を取りまとめを発表した。

その中で、作業安全関連では、今後、除染作業を加速化し、全面マスク着用の省略可能エリアを拡大していく、作業員同士とのコミュニケーション向上にもつなげるほか、新事務棟を二五年度までに、千二百名収容の大型休憩所を一四年末までに整備するなど、厚生施設の改善にも努めていく。また、協力企業とのコミュニケーション強化、現場の指揮系統における責任所在の明確化、専門スタッフ配置、関連部門の組織・要員を全社レベルで拡充させるなど、安

立地選定のプロセス検討

総合工E調 廃棄物WG 進展せぬ反省点整理

経済産業省の総合資源エネルギー調査会放射性廃棄物ワーキンググループ(委員長増田寛也・野村総合研究所顧問)は8日、地層処分場の立地選定プロセス見直しについて議論した。

処分事業の取組・制度に対し理解が得られていない要因に、立地選定プロセスへの不信感があったとして、資源エネルギー庁は、これまでの反省点を「政府としてのコミットが不十分」、「地元

外相、IAEA 協力他求める

イラン核問題

岸田文雄外相は九日、イランを公式訪問し、ローハニ大統領らと会談を行った。

核問題関連では、岸田大臣より、ローハニ大統領に対し、社会の信頼を得るため、包括的核実験禁止条約(CTBT)の批准、追加議定書(AP)の批准・実施を含むIAEAとの完全な協力などを提案した。

また、ザリーフ外務相との会談では、七九日に行われたEU3+3とイランの交渉の詳細について説明を受けたほか、

訪印、日・V4 会合も開催

岸田外相

岸田外相は十二日、訪問先のインドで、第五回「V4+日本」外相会合を行った。V4は、ハンガリー、ポーランド、チェコ、スロバキアによる地域協力の枠組み。

会合では、岸田大臣が原子力安全について、福島第一原発事故の経験と教訓を国際社会と共有し、原子力安全の強化に貢献していくことは日本の責務であると述べた。

これに対し、V4各国大臣からは、全般的な経済関係の強化に向けて、

放射線リスクでフォーラム開催

技術士会

日本技術士会は二十五日、東京・港区の機械振興会館で、「技術士フォーラム」放射線による被ばくリスクと放射線防護をどう考えたらよいか」を開催する。

山下俊一氏(長崎大学副学長、山口一郎氏(国立保健医療科学院上席主任研究員)、丹羽太貴氏(京都大学名誉教授)を講師に招き、①放射線による身体影響の従来の放射線防護の考え方と基準値③福島の汚染状況や住民への健康影響——にテーマを絞り、福島の復興支援活動、事故後二年半を経て解ってきた事実と、説明が放置されてきた誤解の整理を試み、原子力の是非を問う政策論は切り離して、今後「われわれは何をすべきか」、参加者自身が答えを導いていくことをねらう。

定員二百名。参加費は正会員二千円、非会員四千円など、当日会場で支払う。申込み・問合せは、日本技術士会事務局(電話03-3459-1133)まで。

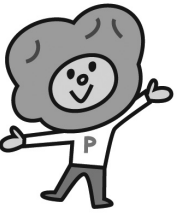
バックエンド問題対応も必要に

三法交付金制度 福井県立大・井上氏の見解

井上武史・福井県立大学地域経済研究所講師は、電源三法交付金制度の展望について、十月二十九日の原子力委員会委員会で説明した。

電源三法交付金は、立地のメリットを補完してきた七〇〜九〇年代、長期運転のメリットを補完してきた九

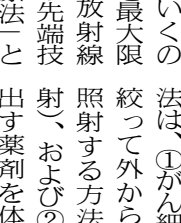
原子力ワンポイント



福井県郡山市の総合南東北病院で、放射線を利用する次世代がん治療「ホウ素中性子捕捉療法(Boron Neutron Capture Therapy: BNCT)」施設の仕事が進んでいます。日本の医療の国際競争力を高める役割を、福島県が担っていく意気込みを感じます。今回は放射線を利用する「がん治療」の最前線に迫ります。

ゆりちゃん がんになりたくらないうちで、抗がん剤を飲むのが普通と思っていたけれど、最近、日本でも放射線治療を受ける人が増えていると聞きました。BNCTは、

広く利用されている放射線



ゆりちゃん がんになりたくらないうちで、抗がん剤を飲むのが普通と思っていたけれど、最近、日本でも放射線治療を受ける人が増えていると聞きました。BNCTは、

たくさん 放射線療法には、身体への負担が少なく、治療後の生活の質を阻害するリスクが小さい、という利点があります。高年齢が進むがん細胞は、正常細胞よりも放射線の影響を受けやすいのです。また、放射線照射の後、まだ生き残っているがん細胞は、免疫細胞が異物と認識して攻撃、効率よく

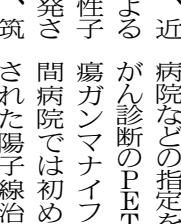
放射線診断技術で医学分野に貢献



たくさん 放射線療法には、身体への負担が少なく、治療後の生活の質を阻害するリスクが小さい、という利点があります。高年齢が進むがん細胞は、正常細胞よりも放射線の影響を受けやすいのです。また、放射線照射の後、まだ生き残っているがん細胞は、免疫細胞が異物と認識して攻撃、効率よく

ゆりちゃん BNCTについても教えてください。BNCTは、熱中性子線(10〜15 MeV)を三〜六十分照射すると、中性子とホウ素の核反応によって二種類の放射線(α線とリチウム粒子)が生じ、がん細胞を破壊します。BNCTはこれら放射線を利用した治療法です。これまでは

BNCTの原理



実験用原子炉から中性子を活用していましたが、近年、加速器による医療用小型中性子発生装置が開発され、京都大学、筑波大学、国立がん研究センターで研究が進められています。また、一般財団法人脳神経疾患研究所では、附属の総合南東北病院(福井県郡山市)の敷地に導入が進められ、二〇一五年春の完成から医療機器の薬事承認取得を目指し、治療を開始する予定です。そして脳と頭頸部、治療実績を重ね、データを蓄積するともに、実用化への着実な取り組みが求められています。

総合南東北病院(原産協会・人材育成部)